

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和7年11月分【廃棄物埋立中調査①】)

【廃棄物処分場周辺 水質】

【廃棄物搬入施設周辺 大気質・騒音・振動・交通量】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 12
3. 調査結果の概要	I - 13

II 事後調査結果

1. 水質（廃棄物処分場周辺）	II - 1
2. 大気質（廃棄物搬入施設周辺）	II - 8
3. 騒音・振動（廃棄物搬入施設周辺）	II - 16
4. 交通量（廃棄物搬入施設周辺）	II - 22

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和7年11月の事後調査の概要は表－1に、調査地点の位置は図－1に示すとおりである。

表－1（1）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	11月1日～30日	通年連続

表－1（2）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	11月11日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表－１（３）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（放流水、内水及び護岸外周（１）））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	11月1日～30日	連続測定
浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS)	放流水 1点 内 水 1点	11月4日、11日、 18日、25日	1回／週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	11月11日	1回／月
全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌数		11月11日	4回／年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層: 海面下1m 下層: 海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌数は上層のみ調査	11月11日	4回／年 (5月、8月、11月、2月)

表－１（４）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（放流水、内水及び護岸外周（２）））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等（アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物） 1,4-ジオキサン クロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン	放流水 1点 内 水 1点 （処理原水） 護岸外周 3点×2層 （護岸から30m） 【19, 20, 21】 上層：海面下1m 下層：海底面上2m シス-1,2-ジクロロエチレンは放流水・内水のみ調査 クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレンは護岸外周のみ調査	放流水 11月11日 内水 11月11日 護岸外周 11月11日	放流水、内水 4回／年 （5月、8月、11月、2月） 護岸外周 4回／年 （5月、8月、11月、2月）
ダイオキシン類	ダイオキシン類は上層のみ調査	放流水 11月11日 内水 — 護岸外周 —	放流水 4回／年 （5月、8月、11月、2月） 内水 2回／年 （8月、2月） 護岸外周 1回／年 （8月）

表－１（５）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（処分場周辺））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌数は上層のみ調査	11月11日	4回／年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機磷 1,4-ジオキサン		—	2回／年 (8月、2月)

表－１（６）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回／年 (8月、2月)

表－１（７）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質（処分場周辺））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) 【15】	—	2回／年 (8月、2月)
●有害項目＜含有量試験＞ アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機磷 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル パナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

表－１（８）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 騒音・低周波音）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波音圧レベル	1点 野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）	—	2回／年 （4月、10月）

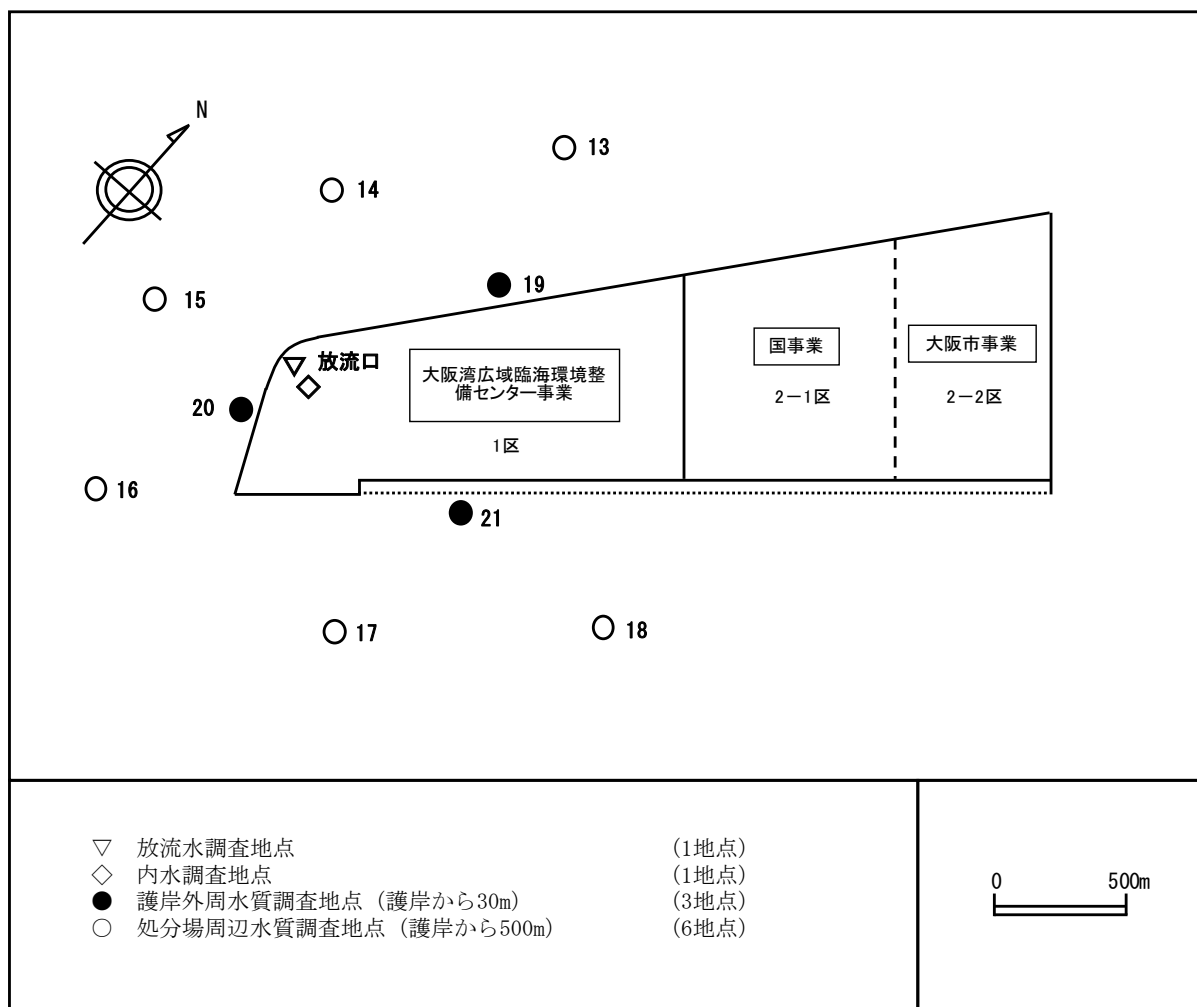
表－１（９）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 悪臭）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点 野鳥園臨港緑地（南港野鳥園）	—	2回／年 （8月、9月）

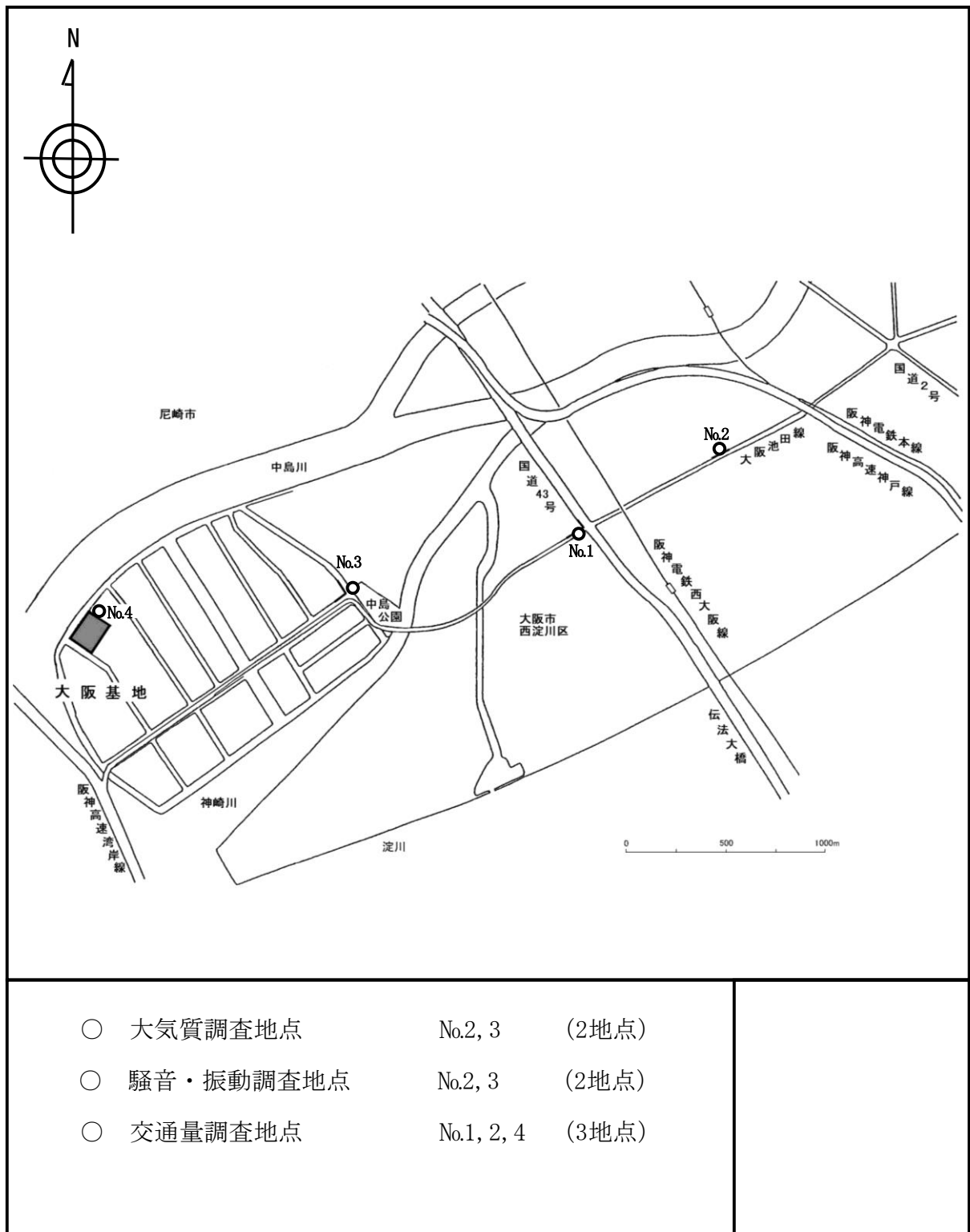
表－１（１０）事後調査の概要（廃棄物搬入施設に係る調査 大気質、騒音、振動、交通量、悪臭）

調査項目		調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道		1週間×4回／年 (5月、8月、11月、2月)
		大阪基地周辺 : 2点 【No.2、3】 堺基地周辺 : 2点 【No.1、2】	11月5日～11日 11月13日～19日	
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道		2回／年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
		大阪基地周辺 : 2点 【No.2、3】 堺基地周辺 : 2点 【No.1、2】	11月5日 11月5日	
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道		2回／年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
		大阪基地周辺 : 2点 【No.2、3】 堺基地周辺 : 2点 【No.1、2】	11月5日 11月5日	
交通量	廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道		4回／年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
		大阪基地周辺 : 3点 【No.1、2、4】 堺基地周辺 : 4点 【No.1、2、3、4】	11月5日 11月5日	
悪臭	臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地周辺 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地周辺 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】	—	2回／年 (6月、8月)

※泉大津基地周辺については、令和7年4月より泉大津基地の稼働を終了しているため、調査を実施していない



図－1（1） 廃棄物処分場周辺における水質の調査地点



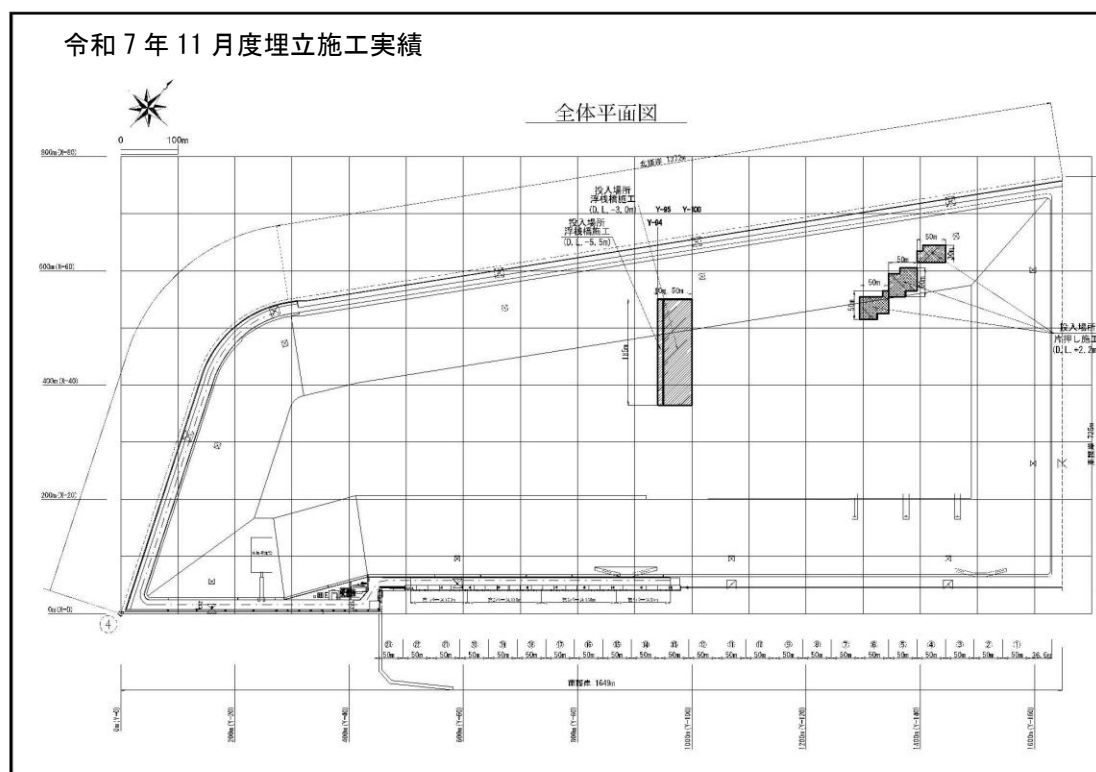
図－１（２） 廃棄物搬入施設周辺における調査地点（大阪基地周辺）



図－1（3） 廃棄物搬入施設周辺における調査地点（堺基地周辺）

2. 工事の実施状況

令和 7 年 11 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
8,589,260.3	61.5%

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

3. 調査結果の概要

廃棄物処分場の埋立に係る調査

(1) 大気質

令和 7 年 11 月分【埋立中共通調査】に記載

(2) 水質

①一般項目

令和 7 年 11 月分【埋立中共通調査】に記載

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第 6～10、12 号]

1) 放流水（連続測定）

濁度は、0.5～3.0 度(カリン)（平均値 1.4 度(カリン)）の範囲であった。

水温は、16.4～20.7℃（平均値 18.4℃）の範囲であった。

pH は、6.8～7.0 の範囲であり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値（5.0 以上 9.0 以下）の範囲内であった。

COD は、26.0～29.0mg/L（平均値 27.5mg/L）の範囲であり、測定期間を通じて放流水の基準値（90mg/L）及び管理目標値（40mg/L）を下回っていた。

DO は、6.5～8.5mg/L（平均値 7.6mg/L）の範囲であった。

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、報告下限値未満（<1mg/L）～1mg/L（平均値 1mg/L）の範囲であり、全測定を通じて放流水の基準値（60mg/L）及び管理目標値（50mg/L）を下回っていた。

FSS は、全て報告下限値未満（<1mg/L）であった。

pH は、7.0 であり、放流水の基準値及び管理目標値（5.0 以上 9.0 以下）の範囲内であった。

COD は、30mg/L であり、放流水の基準値（90mg/L）及び管理目標値（40mg/L）を下回っていた。

T-N は、21mg/L であり、放流水の基準値（120mg/L、日間平均 60mg/L）及び管理目標値（30mg/L）を下回っていた。

T-P は、0.01mg/L であり、放流水の基準値（16mg/L、日間平均 8mg/L）及び管理目標値（4mg/L）を下回っていた。

n-ヘキサン抽出物質は、報告下限値未満（<0.5mg/L）であり、放流水の基準値及び管理目標値（鉱油類含有量 5mg/L、動植物油脂類含有量 30mg/L）を下回っていた。

大腸菌数は、0CFU/mL であり、放流水の基準値及び管理目標値（日間平均 800CFU/mL 以下）を下回っていた。

健康項目等については、事後調査報告書（令和 7 年 11 月分【廃棄物埋立中調査②】）で報告する。

・内水

SS は、4～5mg/L（平均値 4mg/L）の範囲であった。

FSS は、報告下限値未満（<1mg/L）～2mg/L（平均値 1mg/L）の範囲であった。

pH は 7.3、COD は 35mg/L、T-N は 39mg/L、T-P は 0.05mg/L、n-ヘキサン抽出物質は報告下限値未満（<0.5mg/L）、大腸菌数は 0CFU/mL であった。

健康項目等については、事後調査報告書（令和 7 年 11 月分【廃棄物埋立中調査②】）で報告する。

3) 護岸外周

ア) 浮遊物質（SS）

浮遊物質（SS）は、上層で 2～3mg/L、下層で 2～4mg/L の範囲であった。

イ) 不揮発性浮遊物質（FSS）

不揮発性浮遊物質（FSS）は、上層でいずれも 1mg/L、下層で 1～2mg/L の範囲であった。

ウ) 水素イオン濃度（pH）【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度（pH）は、上層で 8.0～8.1、下層でいずれも 8.1 であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

エ) 化学的酸素要求量（COD）【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量（COD）は、上層で 3.0～3.2mg/L、下層で 2.1～2.5mg/L の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 19(3.1mg/L) 及び調査地点 21(3.2mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、上層で 2.1～8.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

オ) 溶存酸素量（DO）【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量（DO）は、上層で 6.5～8.5mg/L、下層で 5.9～7.1mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

カ) 全窒素（T-N）【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素（T-N）は、上層で 0.49～1.1mg/L、下層で 0.32～0.38mg/L の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 20(0.63mg/L) 及び調査地点 21(1.1mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、上層で 0.40～1.4mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられ

る。

キ) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は、上層で 0.065～0.099mg/L、下層で 0.043～0.049mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 19 (0.065mg/L)、調査地点 20 (0.069mg/L) 及び調査地点 21 (0.099mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 13～18) における水質調査の結果は、上層で 0.033～0.18mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

ク) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値：検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は、全ての調査地点において報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、環境基準に適合していた。

ケ) 大腸菌数

大腸菌数は、 $1.2 \times 10^2 \sim 8.4 \times 10^3$ CFU/100mL の範囲であった。

コ) 健康項目等

令和 7 年 11 月分【廃棄物埋立中調査②】に記載

②-2 処分場周辺 [水質様式第 16 号]

1) 濁度

濁度は、上層でいずれも 1 度(カリン)、下層で 1～3 度(カリン)の範囲であった。

2) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は、上層で 2～4mg/L、下層で 3～4mg/L の範囲であった。

3) 不揮発性浮遊物質量 (FSS)

不揮発性浮遊物質量 (FSS) は、上層で 1～2 mg/L、下層で 1～3 mg/L の範囲であった。

4) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は、上層で 8.0～8.2、下層でいずれも 8.1 であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

5) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は、上層で 2.8～3.5mg/L、下層で 1.9～2.7mg/L の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 13 (3.5mg/L)、調査地点 14 (3.2mg/L)、調査地点 16,17 (3.3mg/L) 及び調査地点 18 (3.4mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、上層で 2.1～8.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は、上層で 6.9～8.1mg/L、下層で 5.2～6.9mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

7) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は、上層で 0.50～0.99mg/L、下層で 0.24～0.37mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 15 (0.67mg/L)、調査地点 16 (0.65mg/L)、調査地点 17 (0.64mg/L) 及び調査地点 18 (0.99mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、上層で 0.40～1.4mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

8) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は、上層で 0.069～0.10mg/L、下層で 0.040～0.047mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 13 (0.071mg/L)、調査地点 14,16 (0.075mg/L)、調査地点 15 (0.069mg/L)、調査地点 17 (0.077mg/L) 及び調査地点 18 (0.10mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、上層で 0.033～0.18mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

9) クロロフィル a

クロロフィル a は、上層で 1.3～13μg/L、下層で 2.0～4.1μg/L の範囲であった。

10) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値：検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は、全ての調査地点において報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、環境基準に適合していた。

11) 大腸菌数

大腸菌数は、 $2.0 \times 10^2 \sim 3.2 \times 10^3$ CFU/100mL の範囲であった。

12) カドミウム等

11 月は実施せず。

(3) 底質

11 月は実施せず。

(4) 騒音・低周波音

11 月は実施せず。

(5) 悪臭

11 月は実施せず。

廃棄物搬入施設に係る調査

(1) 大気質 [大気質様式第 9～16 号]

1) 大阪基地周辺

7) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北であり、平均風速は 1.7m/sec であった。

4) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東北東であり、平均風速は 1.9m/sec であった。

2) 堺基地周辺

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は東南東であり、平均風速は 1.1m/sec であった。

4) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は北北東であり、平均風速は 0.7m/sec であった。

(2) 騒音・振動

1) 大阪基地周辺

① 騒音

7) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

騒音レベル(L_{Aeq})は 68.0～70.2dB(平均 69dB)であり、環境基準値 (70dB)・要請限度値 (75dB)以下であった。

なお、1 時間値では、11 時台の時間帯で環境基準値を超える結果となったが、この地点の主要音源は自動車走行騒音であり、廃棄物輸送車両の時間交通量に占める割合が 0.0～0.4% であるため、本事業の廃棄物輸送車両による騒音への影響は小さいと考えられる。

イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

騒音レベル(L_{Aeq})は 55.6～61.3dB(平均 58dB)であり、環境基準値(65dB)・要請限度値(75dB)を下回っていた。

② 振動

測定点No. 2 における振動レベル(L_{10})は 42～47dB(平均 45dB)であり、測定点No. 3 では 36～40dB(平均 38dB)であった。振動レベルは、共に要請限度値(65dB)を下回っていた。

2) 堺基地周辺

① 騒音

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

騒音レベル(L_{Aeq})は 72.3～74.4dB(平均 73dB)であり、要請限度値(75dB)を下回っていたが、環境基準値(70dB)を上回っていた。

なお、1 時間値では、全ての時間帯で環境基準値を超える結果となったが、この地点の主要音源は自動車走行騒音であり、廃棄物輸送車両の総交通量に占める割合が 0.0～0.3%であるため、本事業の廃棄物輸送車両による騒音への影響は小さいと考えられる。

4) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

騒音レベル(L_{Aeq})は 63.3～65.6dB(平均 64dB)であり、環境基準値(70dB)・要請限度値(75dB)を下回っていた。

② 振動

測定点No. 1 における振動レベル(L_{10})は 44～49dB(平均 47dB)であり、測定点No. 2 では 37～43dB(平均 40dB)であった。両地点 (No. 1、No. 2) の振動レベルはそれぞれの要請限度値(65dB、70dB)を共に下回っていた。

(3) 交通量 [交通量様式第 1～2 号]

1) 大阪基地周辺

7) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 1)

時間交通量は 906～1,309 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～2 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 7 台/10hr で、総交通量(10,369 台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

4) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

時間交通量は 912～1,279 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～4 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 14 台/10hr で、総交通量(11,174 台/10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 96～193 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～61 台で推移し、測定日の廃

廃棄物輸送車総交通量は 279 台／10hr で、総交通量(1,479 台／10hr)に占める割合は 18.9%であった。

2) 堺基地周辺

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は 1,806～3,366 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～6 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 16 台／10hr で、総交通量(23,650 台／10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

1) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は 930～1,644 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～3 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 5 台／10hr で、総交通量(13,265 台／10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

2) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.3)

時間交通量は 1,722～2,832 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～2 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 6 台／10hr で、総交通量(21,390 台／10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

3) 堺基地近傍の測定点 (No.4)

時間交通量は 1～46 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 1～46 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 186 台／9hr で、総交通量(216 台／9hr)に占める割合は 86.1%であった。

(4) 悪臭

11 月は実施せず。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

注）1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内の全ての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音(道路に面する地域)

廃棄物 搬入施設	測定地点	用途 地域	地域 区分	騒音に係る 環境基準値 (d B)	
				区域 区分	基準
大阪 基地	No.2 (大阪池田線沿道)	準住居	幹線 道路 (4)	特例	70
	No.3 (中島公園近傍)	第 1 種 住居	(2)	B	65
堺 基地	No.1 (大阪臨海線沿道)	第 1 種 住居	幹線 道路 (6)	特例	70
	No.2 (堺狭山線沿道)	近隣 商業	幹線 道路 (4)	特例	
泉 大津 基地	No.A (大阪臨海線沿道)	準工業	幹線 道路 (6)	特例	70
	No.B (泉大津美原線沿道)	準工業	幹線 道路 (4)	特例	

注：1. 上表の環境基準は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。

(昼間) 騒音に係る環境基準：午前6時から午後10時まで

2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」のことである。() 内は面する道路の車線数である。

3. 区域区分は以下のとおりである。

幹線道路を担う道路に近接する空間は特例

B地域(第1種住居地域)のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域

4. 騒音に係る環境基準は L_{Aeq} によるものである。

2. 規制基準値等

(1) 水質（放流水）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度（pH）	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量（COD）	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質（SS）	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	全窒素（T-N）	120mg/L（日間平均 60mg/L）以下	30mg/L 以下
	全リン（T-P）	16mg/L（日間平均 8mg/L）以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（n-ヘキサン抽出物質）	鉱油類含有量：5mg/L 以下 動植物油脂類含有量：30mg/L 以下	同左
	大腸菌数	日間平均 800CFU/mL 以下	同左

- 注）1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋
2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 騒音・振動（要請限度）

廃棄物搬入施設	測定地点	用途地域	地域区分	自動車騒音の要請限度（d B（A））		道路交通振動の要請限度（d B）	
				区域区分	限度	区域区分	限度
大阪基地	No.2（大阪池田線沿道）	準住居	幹線道路（4）	b	75	第1種	65
	No.3（中島公園近傍）	第1種住居	（2）				
堺基地	No.1（大阪臨海線沿道）	第1種住居	幹線道路（6）	b	75	第1種	65
	No.2（堺狭山線沿道）	近隣商業	幹線道路（4）	c		第2種	70
泉大津基地	No.A（大阪臨海線沿道）	準工業	幹線道路（6）	c	75	第2種	70
	No.B（泉大津美原線沿道）	準工業	幹線道路（4）	c		第2種	

- 注：1. 上表の環境基準及び要請限度は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。
- （昼間） 自動車騒音の要請限度：午前6時から午後10時まで
 道路交通振動の要請限度：午前6時から午後9時まで
2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」のことである。（ ）内は面する道路の車線数である。
3. 区域区分は以下のとおりである。
- （自動車騒音の要請限度） b 区域（第1種住居地域、準住居地域）のうち車線を有する道路に面する区域
 c 区域（準工業地域）のうち車線を有する道路に面する区域
- （道路交通振動の要請限度） 第1種住居地域、準住居地域は第1種区域
 近隣商業地域、準工業地域は第2種区域
4. 道路交通騒音の要請限度は L_{Aeq} 、道路交通振動の要請限度は L_{10} によるものである。

3. 廃棄物等受入前調査結果（平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月・水質（処分場周辺））

区 分 項 目		廃棄物等受入前調査 (平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月) 処分場周辺（調査地点 13～18）	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [－]	上層	8.0 ～ 8.7 (19/36)	－
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/36)	－
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	2.1 ～ 8.1 (26/36)	4.3 ～ 5.8 (6/6)
	下層	1.5 ～ 3.3 (3/36)	2.4 ～ 3.0 (0/6)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	7.5 ～ 12 (0/36)	9.1 ～ 9.8
	下層	1.9 ～ 9.5 (9/36)	5.8 ～ 7.0
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	上層	<0.5 ～ <0.5 (0/36)	<0.5 ～ <0.5
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.40 ～ 1.4	0.65 ～ 0.92 (6/6)
	下層	0.18 ～ 0.79	0.32 ～ 0.44 (0/6)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.033 ～ 0.18	0.067 ～ 0.097 (6/6)
	下層	0.014 ～ 0.16	0.034 ～ 0.075 (4/6)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 13～18 におけるそれぞれ全調査地点の最小値と最大値を示す。
2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
3. 「平均値」の値は、各調査地点における期間平均値の最小～最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

水質調査結果（放流水（連続測定：総括））[令和 7 年 11 月分]

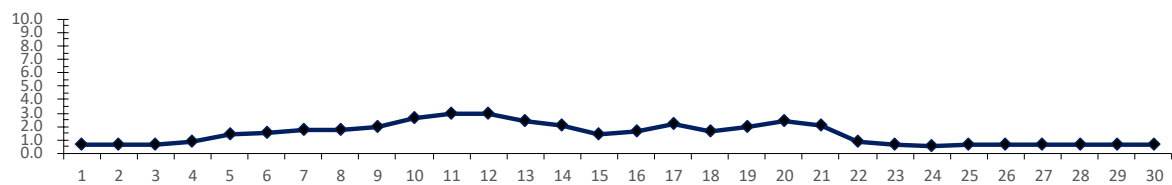
項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カリン)]	0.5	～	3.0	1.4
水温	[℃]	16.4	～	20.7	18.4
pH	[－]	6.8	～	7.0	7.0
COD	[mg/L]	26.0	～	29.0	27.5
DO	[mg/L]	6.5	～	8.5	7.6

特記事項

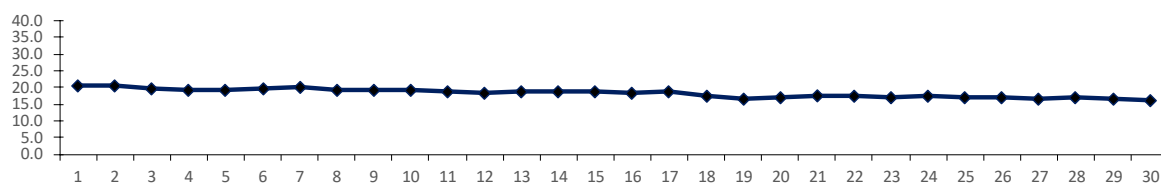
水質様式第 7 号

水質調査結果（放流水（連続測定））〔令和 7 年 11 月分〕

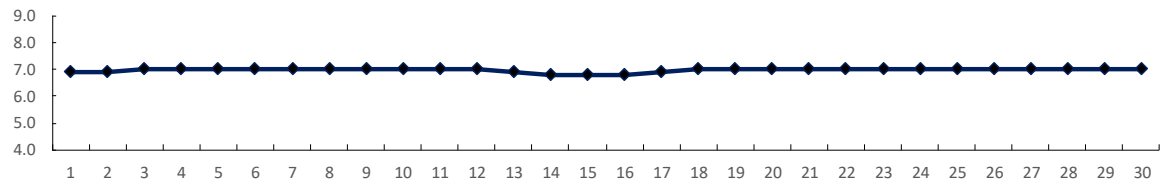
濁度 [度(カリン)]



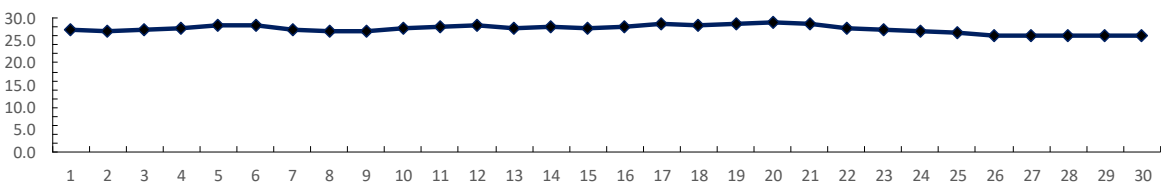
水温 [℃]



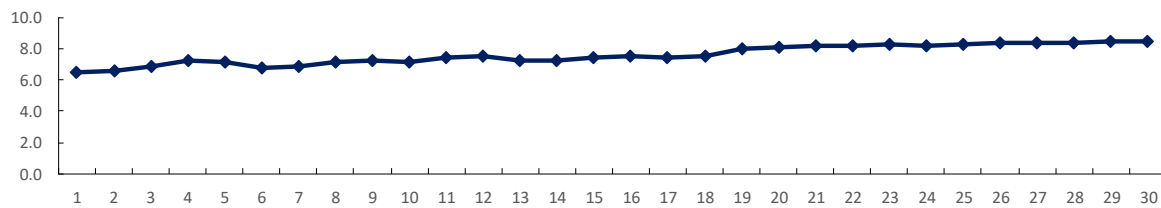
水素イオン濃度 (pH) [-]



化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]



溶存酸素量 (DO) [mg/L]



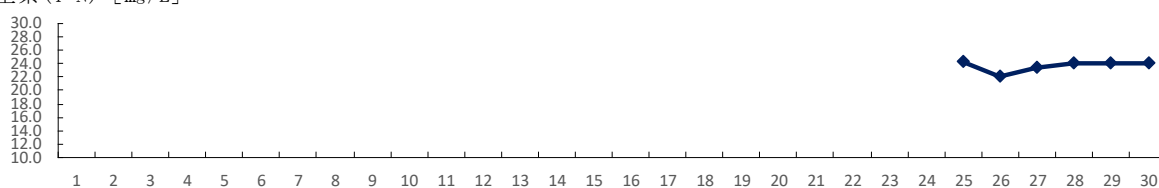
【参考】（自主検査）

T-N 連続測定器による水質調査結果（放流水）

水質調査結果（放流水（連続測定））〔令和 7 年 11 月分〕

項目 \ 区分		放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
全窒素	[mg/L]	22.0	～	24.3	23.6

全窒素 (T-N) [mg/L]



11/25(火) 10:00

全窒素計測定再開。

水質調査結果（放流水、内水①）[令和 7 年 11 月分]

調査日	区分	放流水			内水		
	項目	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
11/4	(火)	10:00	<1	<1	9:40	4	<1
11/11	(火)	10:00	1	<1	9:40	4	1
11/18	(火)	10:00	<1	<1	9:40	4	1
11/25	(火)	10:00	<1	<1	9:40	5	2
平均値		—	1	<1	—	4	1
最小値		—	<1	<1	—	4	<1
最大値		—	1	<1	—	5	2

特記事項

水質様式第 9 号

水質調査結果（放流水、内水②）[令和 7 年 11 月分]

調査日：令和7年11月11日

項目 \ 区分	放流水	内水
時刻	10:00	9:40
pH [-]	7.0(20℃)	7.3(22℃)
COD [mg/L]	30	35
T-N [mg/L]	21	39

特記事項

水質様式第 10 号

水質調査結果（放流水、内水③）[令和 7 年 11 月分]

調査日：令和7年11月11日

項目 \ 区分	放流水	内水
時刻	10:00	9:40
T-P [mg/L]	0.01	0.05
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	<0.5	<0.5
鉍油類含有量 [mg/L]	<0.5	<0.5
動植物油脂含有量 [mg/L]	<0.5	<0.5
大腸菌数 [CFU/mL]	0	0

特記事項

水質調査結果（護岸外周①）〔令和 7 年 11 月分〕

調査日：令和7年11月11日

調査点 項目		19	20	21	最小値	～	最大値	平均値
時刻		9:12	9:50	9:00	-			-
透明度	[m]	4.4	3.0	3.2	3.0	～	4.4	3.5
水温		19.7	19.0	18.7	18.7	～	19.7	19.1
	[℃]	21.1	21.1	21.1	21.1	～	21.1	21.1
塩分		30.9	30.1	28.3	28.3	～	30.9	29.8
	[－]	32.6	32.6	29.1	29.1	～	32.6	31.4
浮遊物質量（S S）		2	3	2	2	～	3	2
	[mg/L]	2	4	3	2	～	4	3
不揮発性浮遊物質量 （F S S）		1	1	1	1	～	1	1
	[mg/L]	1	2	2	1	～	2	2
水素イオン濃度 （p H）		8.1	8.1	8.0	8.0	～	8.1	8.1
	[－]	8.1	8.1	8.1	8.1	～	8.1	8.1
化学的酸素要求量 （C O D）		3.1	3.0	3.2	3.0	～	3.2	3.1
	[mg/L]	2.2	2.5	2.1	2.1	～	2.5	2.3
溶存酸素量 （D O）	濃 度 [mg/L]	8.5	7.3	6.5	6.5	～	8.5	7.4
		6.3	5.9	7.1	5.9	～	7.1	6.4
	飽和度 [%]	112	94	83	83	～	112	96
		86	80	95	80	～	95	87
全窒素 （T－N）		0.49	0.63	1.1	0.49	～	1.1	0.74
	[mg/L]	0.32	0.38	0.34	0.32	～	0.38	0.35
全燐 （T－P）		0.065	0.069	0.099	0.065	～	0.099	0.078
	[mg/L]	0.043	0.049	0.044	0.043	～	0.049	0.045
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5
大腸菌数 [CFU/100mL]		1.2×10^2	1.7×10^3	8.4×10^3	1.2×10^2	～	8.4×10^3	3.4×10^3

注）上段：上層（海面下1m）

下段：下層（海底面上2m）

但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌数は、上層の値を示している。

特記事項

水質様式第 16 号

水質調査結果（処分場周辺①）〔令和 7 年 11 月分〕

調査日：令和7年11月11日

調査点 項目		13	14	15	16	17	18	最小値	～	最大値	平均値
時刻		9:01	9:29	9:40	9:34	9:20	8:46	-			-
透明度 [m]		3.9	3.9	4.0	3.0	3.7	3.0	3.0	～	4.0	3.6
水温 [°C]		20.2	19.7	19.5	19.5	19.3	19.8	19.3	～	20.2	19.7
		21.1	21.0	20.8	20.8	21.1	21.1	20.8	～	21.1	21.0
塩分 [-]		31.2	30.8	30.4	30.0	28.6	28.9	28.6	～	31.2	30.0
		32.6	32.5	32.5	32.6	32.6	32.6	32.5	～	32.6	32.6
濁度 [度(カリン)]		1	1	1	1	1	1	1	～	1	1
		1	1	2	1	2	3	1	～	3	2
浮遊物質量 (SS) [mg/L]		3	3	2	3	4	3	2	～	4	3
		3	3	4	3	4	4	3	～	4	4
不揮発性浮遊物質量 (FSS) [mg/L]		1	1	1	1	2	1	1	～	2	1
		2	1	3	2	3	2	1	～	3	2
水素イオン濃度 (pH) [-]		8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	8.0	8.0	～	8.2	8.1
		8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	～	8.1	8.1
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]		3.5	3.2	2.8	3.3	3.3	3.4	2.8	～	3.5	3.3
		2.0	1.9	2.3	2.6	2.3	2.7	1.9	～	2.7	2.3
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	7.5	8.1	7.1	7.7	7.5	6.9	6.9	～	8.1	7.5
		6.5	6.5	6.9	6.3	5.8	5.2	5.2	～	6.9	6.2
	飽和度 [%]	102	110	95	103	98	90	90	～	110	100
全窒素 (T-N) [mg/L]		0.52	0.50	0.67	0.65	0.64	0.99	0.50	～	0.99	0.66
		0.28	0.37	0.24	0.29	0.32	0.31	0.24	～	0.37	0.30
全磷 (T-P) [mg/L]		0.071	0.075	0.069	0.075	0.077	0.10	0.069	～	0.10	0.078
		0.047	0.041	0.040	0.047	0.045	0.047	0.040	～	0.047	0.045
クロロフィル a (chl. a) [μ g/L]		13	13	1.3	6.7	5.4	3.4	1.3	～	13	7.1
		3.5	4.1	3.1	3.7	2.0	2.5	2.0	～	4.1	3.2
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5
大腸菌数 [CFU/100mL]		2.0×10^2	2.2×10^2	1.6×10^3	1.7×10^3	3.0×10^3	3.2×10^3	2.0×10^2	～	3.2×10^3	1.7×10^3

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）
但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌数は、上層の値を示している。

特記事項

大気質様式第9号（廃棄物搬入施設関連）

大気質測定結果総括表(大阪基地周辺)[令和7年11月分]

項 目		測 定 点	No. 2	No. 3
二酸化硫黄	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）		0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）		0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0	0
備 考				

大気質測定結果総括表(堺基地周辺)[令和7年11月分]

項 目		測 定 点	No. 1	No. 2
二酸化硫黄	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）		0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）		0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0	0
備 考				

大気質様式第 10 号（廃棄物搬入施設関連）

二酸化硫黄測定結果(大阪基地周辺)[令和7年11月分]

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5 (水)	0.007	0.008	0.003	0.004
	6 (木)	0.007	0.010	0.003	0.005
	7 (金)	0.005	0.006	0.003	0.004
	8 (土)	0.005	0.010	0.003	0.005
	9 (日)	0.002	0.004	0.002	0.003
	10 (月)	0.003	0.003	0.003	0.004
	11 (火)	0.003	0.005	0.003	0.004
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.005		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.007		0.003	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.010		0.005	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

二酸化硫黄測定結果(堺基地周辺)[令和7年11月分]

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	13 (木)	0.004	0.007	0.004	0.006
	14 (金)	0.005	0.007	0.004	0.008
	15 (土)	0.004	0.007	0.003	0.006
	16 (日)	0.004	0.006	0.003	0.008
	17 (月)	0.005	0.009	0.004	0.012
	18 (火)	0.003	0.005	0.002	0.012
	19 (水)	0.002	0.004	0.001	0.003
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.004		0.003	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.005		0.004	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.009		0.012	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

注：1 日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5 (水)	0.005	0.011	0.006	0.031
	6 (木)	0.008	0.033	0.008	0.025
	7 (金)	0.010	0.069	0.012	0.094
	8 (土)	0.005	0.014	0.005	0.020
	9 (日)	0.003	0.009	0.003	0.012
	10 (月)	0.004	0.013	0.005	0.010
	11 (火)	0.008	0.029	0.019	0.088
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.006		0.008	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.010		0.019	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.069		0.094	

一酸化窒素測定結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	13 (木)	0.015	0.034	0.028	0.050
	14 (金)	0.017	0.059	0.033	0.086
	15 (土)	0.005	0.013	0.012	0.024
	16 (日)	0.002	0.004	0.008	0.017
	17 (月)	0.010	0.043	0.019	0.078
	18 (火)	0.007	0.021	0.015	0.032
	19 (水)	0.007	0.025	0.012	0.031
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.009		0.018	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.017		0.033	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.059		0.086	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

二酸化窒素測定結果(大阪基地周辺)[令和7年11月分]

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	5 (水)	0.015	0.021	0.013	0.026
	6 (木)	0.015	0.030	0.013	0.025
	7 (金)	0.014	0.037	0.012	0.039
	8 (土)	0.014	0.024	0.012	0.024
	9 (日)	0.012	0.027	0.009	0.024
	10 (月)	0.012	0.027	0.011	0.023
	11 (火)	0.015	0.028	0.017	0.036
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.014		0.012	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.015		0.017	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.037		0.039	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		0		0	

二酸化窒素測定結果(堺基地周辺)[令和7年11月分]

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	13 (木)	0.027	0.045	0.025	0.042
	14 (金)	0.025	0.044	0.021	0.031
	15 (土)	0.015	0.023	0.013	0.019
	16 (日)	0.011	0.028	0.010	0.025
	17 (月)	0.018	0.041	0.016	0.038
	18 (火)	0.013	0.033	0.013	0.020
	19 (水)	0.014	0.026	0.013	0.019
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.018		0.016	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.027		0.025	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.045		0.042	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

窒素酸化物($\text{NO}+\text{NO}_2$) 測定結果(大阪基地周辺)[令和7年11月分]

測 定 点		No. 2			No. 3		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	$\text{NO}_2 / (\text{NO}+\text{NO}_2)$ (%)		(ppm)	$\text{NO}_2 / (\text{NO}+\text{NO}_2)$ (%)	
日 別 値	5 (水)	0.020	74.7	0.031	0.019	66.7	0.057
	6 (木)	0.023	66.9	0.063	0.021	62.7	0.049
	7 (金)	0.024	57.8	0.102	0.024	51.5	0.133
	8 (土)	0.019	74.1	0.033	0.017	68.4	0.044
	9 (日)	0.016	78.5	0.036	0.012	76.3	0.036
	10 (月)	0.016	75.9	0.040	0.015	70.6	0.032
	11 (火)	0.023	63.4	0.057	0.035	47.7	0.124
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.020			0.021		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.024			0.035		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.102			0.133		
期 間 平 均 値 $\text{NO}_2 / (\text{NO}+\text{NO}_2)$ (%)		69.2			60.4		

窒素酸化物($\text{NO}+\text{NO}_2$) 測定結果(堺基地周辺)[令和7年11月分]

測 定 点		No. 1			No. 2		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	$\text{NO}_2 / (\text{NO}+\text{NO}_2)$ (%)		(ppm)	$\text{NO}_2 / (\text{NO}+\text{NO}_2)$ (%)	
日 別 値	13 (木)	0.042	64.2	0.079	0.053	47.8	0.091
	14 (金)	0.042	59.2	0.082	0.054	39.1	0.117
	15 (土)	0.020	75.9	0.035	0.025	52.6	0.041
	16 (日)	0.013	84.8	0.031	0.018	54.8	0.042
	17 (月)	0.028	64.3	0.084	0.035	46.0	0.116
	18 (火)	0.020	66.6	0.054	0.029	47.1	0.050
	19 (水)	0.021	68.8	0.051	0.025	50.3	0.050
有 効 測 定 日 数 (日)		7			7		
測 定 時 間 (時間)		168			168		
期 間 平 均 値 (ppm)		0.027			0.034		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.042			0.054		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.084			0.117		
期 間 平 均 値 $\text{NO}_2 / (\text{NO}+\text{NO}_2)$ (%)		66.6			46.8		

注：1. 1 日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. $\text{NO}_2 / (\text{NO}+\text{NO}_2)$ の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均値 $\text{NO}_2 / (\text{NO}+\text{NO}_2)$

= (NO 及び NO_2 が同時測定されている時間の NO_2 濃度の日(期間)間にわたる総和) /
(NO 及び NO_2 が同時測定されている時間の $\text{NO}+\text{NO}_2$ 濃度の日(月)間にわたる総和)

大気質様式第 14 号（廃棄物搬入施設関連）

浮遊粒子状物質測定結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	5 (水)	0.007	0.015	0.009	0.018
	6 (木)	0.006	0.021	0.010	0.021
	7 (金)	0.010	0.019	0.012	0.023
	8 (土)	0.014	0.031	0.016	0.025
	9 (日)	0.011	0.023	0.016	0.035
	10 (月)	0.013	0.029	0.017	0.033
	11 (火)	0.010	0.020	0.014	0.024
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.007		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.011		0.017	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.020		0.035	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

浮遊粒子状物質測定結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)	日 平 均 値 (mg/m ³)	1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)
日 別 値	13 (木)	0.022	0.048	0.019	0.038
	14 (金)	0.023	0.034	0.018	0.031
	15 (土)	0.017	0.040	0.015	0.028
	16 (日)	0.016	0.036	0.008	0.021
	17 (月)	0.016	0.034	0.018	0.035
	18 (火)	0.013	0.021	0.010	0.021
	19 (水)	0.010	0.025	0.006	0.020
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.017		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.023		0.019	
1 時 間 値 の 最 高 値 (mg/m ³)		0.048		0.038	
1 時 間 値 が 0.20mg/m ³ を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.10mg/m ³ を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 15 号（廃棄物搬入施設関連）

気象観測結果（風向・風速）（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

測 定 点		No. 2				No. 3			
項 目		風 速			最多 風向 16方位	風 速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最 大 風 速			平均 風速 (m/s)	最 大 風 速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日 別 値	5 (水)	2.3	3.0	ENE	NE	2.6	3.4	NE	ENE
	6 (木)	1.5	4.2	N	N	1.7	4.3	NNW	NNE
	7 (金)	1.9	3.8	N	N	2.2	4.5	NNE	NNE
	8 (土)	1.3	2.1	ESE	NE	1.3	2.5	ENE	ENE
	9 (日)	1.6	3.1	NE	NE	1.8	3.3	E, NE	ENE
	10 (月)	2.4	5.0	NW	NNW	2.7	6.5	W	W
	11 (火)	1.2	2.7	N	N	1.3	3.4	NE	NNE
有 効 測 定 日 数 (日)		7				7			
測 定 時 間 (時間)		168				168			
期間平均風速 (m/s)		1.7				1.9			
期間最大風速 (m/s)		5.0				6.5			
期間最多風向 (16方位)		N				ENE			

気象観測結果（風向・風速）（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

測 定 点		No. 1				No. 2			
項 目		風 速		最多 風向 16方位	風 速			最多 風向 16方位	
		平均 風速 (m/s)	最 大 風 速		平均 風速 (m/s)	最 大 風 速			
			風速 (m/s)			風向 16方位	風速 (m/s)		風向 16方位
日 別 値	13 (木)	0.8	1.2	SE, ESE	ESE	0.5	1.2	NNE	NNE
	14 (金)	0.7	1.5	N, NE	ESE	0.5	1.9	NE	NE
	15 (土)	0.9	1.6	NE	SE	0.4	1.3	W	NNE
	16 (日)	0.9	1.6	ESE	SE	0.5	1.0	NNE, SSE	NNE
	17 (月)	1.3	2.2	NNE	W	1.0	2.3	NNE	NNE
	18 (火)	1.7	2.7	WNW	WNW	1.3	2.4	NE	NE
	19 (水)	1.1	1.6	NNE, ESE	ENE	0.8	1.8	NNE	NNE
有 効 測 定 日 数 (日)		7				7			
測 定 時 間 (時間)		168				168			
期間平均風速 (m/s)		1.1				0.7			
期間最大風速 (m/s)		2.7				2.4			
期間最多風向 (16方位)		ESE				NNE			

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 16 号（廃棄物搬入施設関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速(大阪基地周辺)[令和7年11月分]

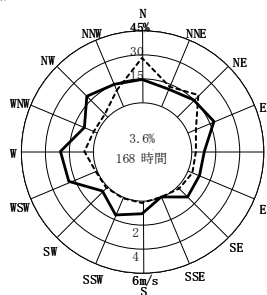
測定点: No.2

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	22	32	10	5	6	4	—	2	1	1	1	8	3	3	18	46	6	168
頻度 (%)	13.1	19.0	6.0	3.0	3.6	2.4	—	1.2	0.6	0.6	0.6	4.8	1.8	1.8	10.7	27.4	3.6	—
平均風速 (m/s)	1.5	2.0	2.3	1.1	1.1	1.3	—	1.1	1.6	0.5	2.4	2.6	1.1	2.3	1.9	1.9	0.1	—

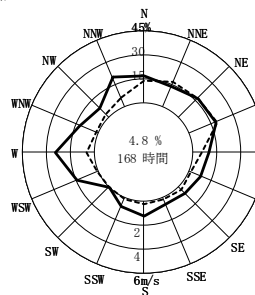
測定点: No.3

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	28	28	31	9	2	3	2	3	2	—	2	8	3	5	11	23	8	168
頻度 (%)	16.7	16.7	18.5	5.4	1.2	1.8	1.2	1.8	1.2	—	1.2	4.8	1.8	3.0	6.5	13.7	4.8	—
平均風速 (m/s)	1.8	2.2	2.3	1.3	1.0	0.7	0.5	1.2	0.8	—	1.9	3.2	1.7	1.1	2.7	2.2	0.2	—

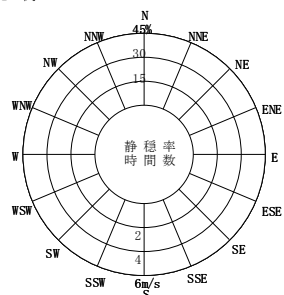
測定点: No.2



測定点: No.3



凡 例



風 配 図 (大阪基地周辺)[令和7年11月分]

風向別出現頻度及び風向別平均風速(堺基地周辺)[令和7年11月分]

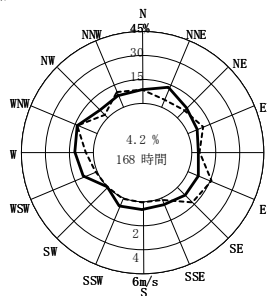
測定点: No.1

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	8	10	18	8	27	23	3	1	1	—	2	7	21	3	16	13	7	168
頻度 (%)	4.8	6.0	10.7	4.8	16.1	13.7	1.8	0.6	0.6	—	1.2	4.2	12.5	1.8	9.5	7.7	4.2	—
平均風速 (m/s)	1.7	1.1	0.9	0.6	1.0	0.9	0.6	0.7	0.8	—	1.2	1.5	1.7	0.8	1.0	1.1	0.2	—

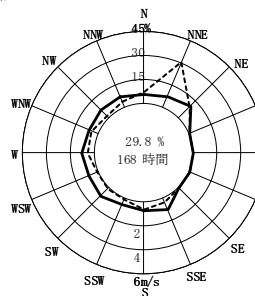
測定点: No.2

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	50	16	—	—	—	—	4	7	1	1	2	7	8	3	7	12	50	168
頻度 (%)	29.8	9.5	—	—	—	—	2.4	4.2	0.6	0.6	1.2	4.2	4.8	1.8	4.2	7.1	29.8	—
平均風速 (m/s)	1.0	1.4	—	—	—	—	1.0	0.7	0.5	0.9	0.9	1.1	0.9	1.0	1.0	0.8	0.1	—

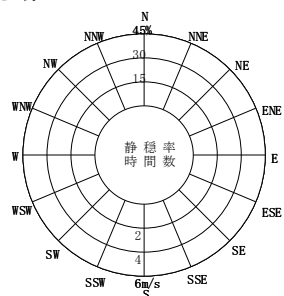
測定点: No.1



測定点: No.2



凡 例



風 配 図 (堺基地周辺)[令和7年11月分]

騒音・振動様式第5号（廃棄物搬入施設関連）

道路交通騒音調査結果総括表（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査日時：令和7年11月5日8時～18時

調査 地点	騒音レベル（デシベル）												主音源
	L_{A5}			L_{A50}			L_{A95}			L_{Aeq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
No. 2	75	74	76	66	64	67	56	54	58	69	68.0	70.2	自動車
No. 3	62	60	66	53	51	58	50	48	55	58	55.6	61.3	自動車

注：1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果総括表（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査日時：令和7年11月5日8時～18時

調査地点	騒音レベル（デシベル）												主音源
	L_{A5}			L_{A50}			L_{A95}			L_{Aeq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
No. 1	78	77	79	71	70	73	64	62	66	73	72.3	74.4	自動車
No. 2	70	69	72	61	59	63	50	48	51	64	63.3	65.6	自動車

注：1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

騒音・振動様式第6号（廃棄物搬入施設関連）

道路交通騒音調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月〕

調査地点：No. 2

調査日：令和7年11月5日

調査 時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}	
08:00～	76	64	54	69.8	自動車
09:00～	75	65	57	69.2	自動車
10:00～	75	66	57	69.5	自動車
11:00～	76	67	57	70.2	自動車
12:00～	75	66	55	69.6	自動車
13:00～	75	66	58	69.7	自動車
14:00～	75	66	55	69.8	自動車
15:00～	75	65	58	68.7	自動車
16:00～	74	66	55	69.1	自動車
17:00～	74	65	55	68.0	自動車
最小値	74	64	54	68.0	
最大値	76	67	58	70.2	
平均値	75	66	56	69	

注：1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月〕

調査地点：No. 3

調査日：令和7年11月5日

調査 時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}	
08:00～	63	52	49	58.0	自動車
09:00～	66	58	55	61.3	自動車
10:00～	61	52	50	55.6	自動車
11:00～	60	54	52	56.0	自動車
12:00～	63	51	48	57.0	自動車
13:00～	62	54	49	57.3	自動車
14:00～	60	53	49	56.0	自動車
15:00～	62	53	49	57.8	自動車
16:00～	61	53	49	56.7	自動車
17:00～	63	52	49	60.0	自動車
最小値	60	51	48	55.6	
最大値	66	58	55	61.3	
平均値	62	53	50	58	

注：1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

騒音・振動様式第6号（廃棄物搬入施設関連）

道路交通騒音調査結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No. 1

調査日：令和7年11月5日

調査 時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}	
08:00～	77	70	63	72.3	自動車
09:00～	78	72	64	73.0	自動車
10:00～	78	73	65	73.6	自動車
11:00～	78	71	66	73.4	自動車
12:00～	79	72	65	74.4	自動車
13:00～	77	71	64	72.7	自動車
14:00～	77	72	65	73.1	自動車
15:00～	78	71	65	73.3	自動車
16:00～	78	70	64	72.7	自動車
17:00～	77	71	62	72.6	自動車
最小値	77	70	62	72.3	
最大値	79	73	66	74.4	
平均値	78	71	64	73	

注：1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通騒音調査結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No. 2

調査日：令和7年11月5日

調査 時間	騒音レベル（デシベル）				主音源
	L_{A5}	L_{A50}	L_{A95}	L_{Aeq}	
08:00～	70	61	51	64.7	自動車
09:00～	71	60	48	64.8	自動車
10:00～	72	62	51	65.6	自動車
11:00～	71	62	48	64.8	自動車
12:00～	70	60	49	63.9	自動車
13:00～	69	61	51	63.7	自動車
14:00～	71	63	50	65.4	自動車
15:00～	70	60	51	64.2	自動車
16:00～	69	60	50	63.3	自動車
17:00～	69	59	50	63.7	自動車
最小値	69	59	48	63.3	
最大値	72	63	51	65.6	
平均値	70	61	50	64	

注：1. L_{A5} 、 L_{A50} 、 L_{A95} の平均値は算術平均値、 L_{Aeq} の平均値はパワー平均値である。

2. 主音源は、寄与率第一位のものを示す。

道路交通振動調査結果総括表（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査日時：令和7年11月5日8時～18時

調査 地点	振動レベル（デシベル）								
	L_{10}			L_{50}			L_{90}		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
No. 2	45	42	47	37	33	39	29	25	31
No. 3	38	36	40	34	31	36	31	28	34

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果総括表（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査日時：令和7年11月5日8時～18時

調査 地点	振動レベル（デシベル）								
	L_{10}			L_{50}			L_{90}		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
No. 1	47	44	49	44	41	46	40	38	43
No. 2	40	37	43	33	30	35	29	27	31

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.2

調査日：令和7年11月5日

調査 時間	振動レベル（デシベル）		
	L_{10}	L_{50}	L_{90}
08:00～	47	37	28
09:00～	43	35	28
10:00～	47	39	29
11:00～	47	39	29
12:00～	45	36	28
13:00～	45	37	31
14:00～	47	39	30
15:00～	44	36	28
16:00～	44	36	30
17:00～	42	33	25
最小値	42	33	25
最大値	47	39	31
平均値	45	37	29

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.3

調査日：令和7年11月5日

調査 時間	振動レベル（デシベル）		
	L_{10}	L_{50}	L_{90}
08:00～	37	33	29
09:00～	40	36	33
10:00～	38	34	31
11:00～	39	36	34
12:00～	37	33	30
13:00～	38	34	31
14:00～	39	36	34
15:00～	36	33	30
16:00～	37	33	30
17:00～	37	31	28
最小値	36	31	28
最大値	40	36	34
平均値	38	34	31

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.1

調査日：令和7年11月5日

調査 時間	振動レベル（デシベル）		
	L_{10}	L_{50}	L_{90}
08:00～	44	41	38
09:00～	47	44	42
10:00～	48	45	42
11:00～	49	46	43
12:00～	48	45	42
13:00～	47	43	40
14:00～	48	44	41
15:00～	47	44	40
16:00～	46	43	38
17:00～	44	41	38
最小値	44	41	38
最大値	49	46	43
平均値	47	44	40

注：平均値は算術平均値である。

道路交通振動調査結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.2

調査日：令和7年11月5日

調査 時間	振動レベル（デシベル）		
	L_{10}	L_{50}	L_{90}
08:00～	37	31	27
09:00～	42	34	30
10:00～	43	35	30
11:00～	41	35	31
12:00～	40	34	29
13:00～	40	33	28
14:00～	43	35	30
15:00～	40	32	29
16:00～	40	32	28
17:00～	37	30	27
最小値	37	30	27
最大値	43	35	31
平均値	40	33	29

注：平均値は算術平均値である。

交通量様式第 1 号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果総括表（大阪基地周辺） [令和7年11月分]

調査日時：令和7年11月5日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. 1	5,647	4,722	10,369	7	0.1
No. 2	3,854	7,320	11,174	14	0.1
No. 3	—	—	—	—	—
No. 4	653	826	1,479	279	18.9

交通量調査結果総括表（堺基地周辺） [令和7年11月分]

調査日時：令和7年11月5日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. 1	9,136	14,514	23,650	16	0.1
No. 2	3,622	9,643	13,265	5	0
No. 3	8,560	12,830	21,390	6	0
No. 4	176	40	216	186	86.1

注：調査地点No. 4の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.1

調査日時：令和7年11月5日

時刻	中島方面						歌島橋方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	186	510	696	0	26.7	0.0	306	150	456	0	67.1	0.0	492	660	1,152	0	42.7	0.0
09:00～	290	174	464	2	62.5	0.4	438	180	618	0	70.9	0.0	728	354	1,082	2	67.3	0.2
10:00～	313	162	475	1	65.9	0.2	420	204	624	0	67.3	0.0	733	366	1,099	1	66.7	0.1
11:00～	289	222	511	1	56.6	0.2	408	390	798	0	51.1	0.0	697	612	1,309	1	53.2	0.1
12:00～	217	162	379	1	57.3	0.3	348	222	570	0	61.1	0.0	565	384	949	1	59.5	0.1
13:00～	192	174	366	0	52.5	0.0	348	192	540	0	64.4	0.0	540	366	906	0	59.6	0.0
14:00～	296	168	464	2	63.8	0.4	330	162	492	0	67.1	0.0	626	330	956	2	65.5	0.2
15:00～	222	96	318	0	69.8	0.0	288	312	600	0	48.0	0.0	510	408	918	0	55.6	0.0
16:00～	150	174	324	0	46.3	0.0	252	372	624	0	40.4	0.0	402	546	948	0	42.4	0.0
17:00～	180	198	378	0	47.6	0.0	174	498	672	0	25.9	0.0	354	696	1,050	0	33.7	0.0
合計	2,335	2,040	4,375	7	53.4	0.2	3,312	2,682	5,994	0	55.3	0.0	5,647	4,722	10,369	7	54.5	0.1

交通量調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.2

調査日時：令和7年11月5日

時刻	中島方面						歌島橋方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	192	324	516	0	37.2	0.0	222	354	576	0	38.5	0.0	414	678	1,092	0	37.9	0.0
09:00～	181	390	571	1	31.7	0.2	198	378	576	0	34.4	0.0	379	768	1,147	1	33.0	0.1
10:00～	228	354	582	0	39.2	0.0	307	390	697	1	44.0	0.1	535	744	1,279	1	41.8	0.1
11:00～	218	366	584	2	37.3	0.3	247	426	673	1	36.7	0.1	465	792	1,257	3	37.0	0.2
12:00～	176	276	452	2	38.9	0.4	176	432	608	2	28.9	0.3	352	708	1,060	4	33.2	0.4
13:00～	175	336	511	1	34.2	0.2	211	306	517	1	40.8	0.2	386	642	1,028	2	37.5	0.2
14:00～	157	330	487	1	32.2	0.2	246	378	624	0	39.4	0.0	403	708	1,111	1	36.3	0.1
15:00～	240	432	672	0	35.7	0.0	194	408	602	2	32.2	0.3	434	840	1,274	2	34.1	0.2
16:00～	156	210	366	0	42.6	0.0	150	396	546	0	27.5	0.0	306	606	912	0	33.6	0.0
17:00～	48	270	318	0	15.1	0.0	132	564	696	0	19.0	0.0	180	834	1,014	0	17.8	0.0
合計	1,771	3,288	5,059	7	35.0	0.1	2,083	4,032	6,115	7	34.1	0.1	3,854	7,320	11,174	14	34.5	0.1

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.4

調査日時：令和7年11月5日

時刻	海方面						国道43号方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	29	72	101	5	28.7	5.0	18	48	66	0	27.3	0.0	47	120	167	5	28.1	3.0
09:00～	66	49	115	31	57.4	27.0	54	24	78	30	69.2	38.5	120	73	193	61	62.2	31.6
10:00～	52	21	73	25	71.2	34.2	39	37	76	28	51.3	36.8	91	58	149	53	61.1	35.6
11:00～	51	13	64	28	79.7	43.8	37	28	65	29	56.9	44.6	88	41	129	57	68.2	44.2
12:00～	31	36	67	13	46.3	19.4	38	36	74	14	51.4	18.9	69	72	141	27	48.9	19.1
13:00～	36	87	123	21	29.3	17.1	42	8	50	20	84.0	40.0	78	95	173	41	45.1	23.7
14:00～	39	62	101	11	38.6	10.9	33	14	47	11	70.2	23.4	72	76	148	22	48.6	14.9
15:00～	16	19	35	5	45.7	14.3	18	44	62	8	29.0	12.9	34	63	97	13	35.1	13.4
16:00～	6	30	36	0	16.7	0.0	0	60	60	0	0.0	0.0	6	90	96	0	6.3	0.0
17:00～	18	12	30	0	60.0	0.0	30	126	156	0	19.2	0.0	48	138	186	0	25.8	0.0
合計	344	401	745	139	46.2	18.7	309	425	734	140	42.1	19.1	653	826	1,479	279	44.2	18.9

交通量調査結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.1

調査日時：令和7年11月5日

時刻	大阪方面						和歌山方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	331	690	1,021	1	32.4	0.1	366	636	1,002	0	36.5	0.0	697	1,326	2,023	1	34.5	0.0
09:00～	591	756	1,347	3	43.9	0.2	501	486	987	3	50.8	0.3	1,092	1,242	2,334	6	46.8	0.3
10:00～	753	462	1,215	3	62.0	0.2	548	582	1,130	2	48.5	0.2	1,301	1,044	2,345	5	55.5	0.2
11:00～	583	498	1,081	1	53.9	0.1	504	540	1,044	0	48.3	0.0	1,087	1,038	2,125	1	51.2	0.0
12:00～	498	474	972	0	51.2	0.0	487	672	1,159	1	42.0	0.1	985	1,146	2,131	1	46.2	0.0
13:00～	384	462	846	0	45.4	0.0	342	618	960	0	35.6	0.0	726	1,080	1,806	0	40.2	0.0
14:00～	631	708	1,339	1	47.1	0.1	469	774	1,243	1	37.7	0.1	1,100	1,482	2,582	2	42.6	0.1
15:00～	444	726	1,170	0	37.9	0.0	474	678	1,152	0	41.1	0.0	918	1,404	2,322	0	39.5	0.0
16:00～	300	774	1,074	0	27.9	0.0	468	1,074	1,542	0	30.4	0.0	768	1,848	2,616	0	29.4	0.0
17:00～	240	1,584	1,824	0	13.2	0.0	222	1,320	1,542	0	14.4	0.0	462	2,904	3,366	0	13.7	0.0
合計	4,755	7,134	11,889	9	40.0	0.1	4,381	7,380	11,761	7	37.3	0.1	9,136	14,514	23,650	16	38.6	0.1

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.2

調査日時：令和7年11月5日

時刻	国道26号方面						阪神高速方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	120	216	336	0	35.7	0.0	102	492	594	0	17.2	0.0	222	708	930	0	23.9	0.0
09:00～	199	444	643	1	30.9	0.2	247	427	674	2	36.6	0.3	446	871	1,317	3	33.9	0.2
10:00～	168	390	558	0	30.1	0.0	277	366	643	1	43.1	0.2	445	756	1,201	1	37.1	0.1
11:00～	150	492	642	0	23.4	0.0	240	540	780	0	30.8	0.0	390	1,032	1,422	0	27.4	0.0
12:00～	204	534	738	0	27.6	0.0	174	378	552	0	31.5	0.0	378	912	1,290	0	29.3	0.0
13:00～	240	384	624	0	38.5	0.0	169	534	703	1	24.0	0.1	409	918	1,327	1	30.8	0.1
14:00～	306	462	768	0	39.8	0.0	246	408	654	0	37.6	0.0	552	870	1,422	0	38.8	0.0
15:00～	228	516	744	0	30.6	0.0	132	432	564	0	23.4	0.0	360	948	1,308	0	27.5	0.0
16:00～	162	498	660	0	24.5	0.0	102	642	744	0	13.7	0.0	264	1,140	1,404	0	18.8	0.0
17:00～	72	768	840	0	8.6	0.0	84	720	804	0	10.4	0.0	156	1,488	1,644	0	9.5	0.0
合計	1,849	4,704	6,553	1	28.2	0.0	1,773	4,939	6,712	4	26.4	0.1	3,622	9,643	13,265	5	27.3	0.0

交通量調査結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.3

調査日時：令和7年11月5日

時刻	和歌山方面						大阪方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	522	498	1,020	0	51.2	0.0	319	1,297	1,616	2	19.7	0.1	841	1,795	2,636	2	31.9	0.1
09:00～	540	511	1,051	1	51.4	0.1	564	624	1,188	0	47.5	0.0	1,104	1,135	2,239	1	49.3	0.0
10:00～	480	336	816	0	58.8	0.0	522	492	1,014	0	51.5	0.0	1,002	828	1,830	0	54.8	0.0
11:00～	558	474	1,032	0	54.1	0.0	601	384	985	1	61.0	0.1	1,159	858	2,017	1	57.5	0.0
12:00～	511	504	1,015	1	50.3	0.1	432	480	912	0	47.4	0.0	943	984	1,927	1	48.9	0.1
13:00～	384	564	948	0	40.5	0.0	378	396	774	0	48.8	0.0	762	960	1,722	0	44.3	0.0
14:00～	565	444	1,009	1	56.0	0.1	450	558	1,008	0	44.6	0.0	1,015	1,002	2,017	1	50.3	0.0
15:00～	546	588	1,134	0	48.1	0.0	342	618	960	0	35.6	0.0	888	1,206	2,094	0	42.4	0.0
16:00～	360	804	1,164	0	30.9	0.0	222	690	912	0	24.3	0.0	582	1,494	2,076	0	28.0	0.0
17:00～	126	1,518	1,644	0	7.7	0.0	138	1,050	1,188	0	11.6	0.0	264	2,568	2,832	0	9.3	0.0
合計	4,592	6,241	10,833	3	42.4	0.0	3,968	6,589	10,557	3	37.6	0.0	8,560	12,830	21,390	6	40.0	0.0

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（堺基地周辺）〔令和7年11月分〕

調査地点：No.4

調査日時：令和7年11月5日

時刻	フェニックス方面						堺方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	17	12	29	11	58.6	37.9	0	0	0	0	-	-	17	12	29	11	58.6	37.9
09:00～	16	2	18	18	88.9	100.0	27	1	28	28	96.4	100.0	43	3	46	46	93.5	100.0
10:00～	13	8	21	15	61.9	71.4	13	4	17	17	76.5	100.0	26	12	38	32	68.4	84.2
11:00～	9	2	11	11	81.8	100.0	9	1	10	10	90.0	100.0	18	3	21	21	85.7	100.0
12:00～	11	6	17	11	64.7	64.7	11	0	11	11	100.0	100.0	22	6	28	22	78.6	78.6
13:00～	11	1	12	12	91.7	100.0	9	1	10	10	90.0	100.0	20	2	22	22	90.9	100.0
14:00～	12	0	12	12	100.0	100.0	12	0	12	12	100.0	100.0	24	0	24	24	100.0	100.0
15:00～	2	1	3	3	66.7	100.0	3	1	4	4	75.0	100.0	5	2	7	7	71.4	100.0
16:00～	0	0	0	0	0.0	0.0	1	0	1	1	100.0	100.0	1	0	1	1	100.0	100.0
17:00～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	91	32	123	93	74.0	75.6	85	8	93	93	91.4	100.0	176	40	216	186	81.5	86.1

注：堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、調査時間を8時から17時までの9時間とした。